

# 維持可能な建設業の実現に 建設労働者の処遇改善・育成は 一刻の猶予もありません。

私たち全建総連は、全国で62万人の建設業に従事する労働者・職人、一人親方等を組織している産業別労働組合です。建設業は、住まいや社会資本・インフラ等を担い、安心・安全な暮らしを支える上で欠かせない基幹産業です。しかし建設現場では、従事者の処遇改善の立ち遅れによって、建設労働者の減少・高齢化に歯止めがかかっていません。

建設労働者の処遇改善、担い手確保・育成のに向けた具体的な施策等の実施が必要です。

## 建設キャリアアップシステム (CCUS) の普及促進が必要です。

建設労働者の処遇改善・担い手確保、技術者一人ひとりの職種経験・技能適正な評価を目的に建設業界が一致してCCUSの運用が開始され、技能登録は120万人を超えています。国土交通省は「CCUSレベル別年収」を公表し、若い世代が建設業の技術者として入職し、技能・経験を重ねていけるよう、将来の処遇面でのキャリアパスを示すとともに、技能経験に応じた賃金支払いについて目指すべき具体的なイメージを業界全体で共有し、賃上げや適正価格での受発注の促進を目指しています。

建設業共通の制度インフラであるCCUSを軸とした、建設労働者の雇用改善、担い手確保・育成に向けた諸施策を確実に実施することが不可欠です。

## 建設労働者の処遇改善・担い手確保育成に取り組んでいます。

2024年4月から働き方改革関連法が建設業に全面適用(時間外労働の上限規制等)されます。建設労働者の長時間労働の是正や週休2日制の推進、適切な賃金水準の確保などの雇用改善は喫緊の課題であり、これらに起因する他産業との人材獲得競争の激化や高齢化による深刻な担い手不足、他産業を大幅に上回る有効求人倍率の高止まりの解消も急務となっています。

建設労働者数の減少に歯止めがかからなければ、社会資本の維持管理・更新や災害復旧等を適切に行うことが困難となり、国民生活に甚大な影響を及ぼすことが懸念されます。

建設労働者の処遇改善に向けて、建設業共通の制度インフラである、建設キャリアアップシステム(SSUS)を活用した取り組みの推進が極めて重要です。

全建総連では、魅力ある、そして持続可能な建設業に向けて、関連施策の実施を進めていくために、『建設労働者の雇用改善、担い手確保、育成に関する100万人国会請願署名』を、組織の力を結集して取り組んでいます。支部事務所、また申告相談に来られた際にご協力の程宜くお願いします。